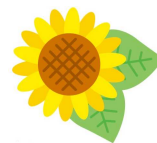


ひまわり



令和3年2月1日(月)

「鬼は外 福は内」



早くも如月。日の出が早くなり、日の入りは遅くなってきました。日の出ている時間が長くなることを「日脚が伸びる」と言います。「日脚伸びる」という冬の終わりの季語もあります。

『日脚伸び 夕空 紺をとりもどし』(皆吉爽雨)
とても美しい俳句だと思います。まさしく、この句

のような情景が見られる季節となりました。

明日は節分、明後日は立春です。立春は暦の上での春の始まりです。皆さんが生まれてから、節分は毎年2月3日でしたが、今年は2月2日となります。これは、明治30年(1897年)2月2日以来124年ぶりのことです。このようなことが起こる原因は、1年の日数を通常365日と数えているのに、地球の公転周期が365.2422日(約365日と6時間)であるためです。詳しく知りたい人は、いつでも質問してください。

節分の風習といえば豆まき。「鬼は外 福は内」のかけ声とともに豆をまき、年の数だけ豆を食べ、家内安全や無病息災を願います。また、私が子どもの頃は、焼いた鰯の頭を指した 柊の枝を玄関の外に取り付けていました。これは、柊の葉のとげが鬼の目を刺し、鰯の頭のように臭いものは魔除けになると考えられていたからです。最近では、豆まきの風習もしだいになくなってきたように思います。 柊 鰯も見かけることはなくなりました。

先日、幼稚園の先生から、今年も多くの幼稚園で「豆まき」をすると聞きました。それは、日本の伝統文化を大切に、それを後世に引き継ぐためだと言います。(衛生面を考慮して豆を食べることはないそうです。)どこの国でも、伝統行事には意味があり、先人の思いや智慧がそこにはあります。だからこそ、大切にしなければならないのです。

コロナという鬼はまだまだ手強い相手ですが、ワクチンという福の神がまもなくやってきます。それまではもう少しのがまん。「鬼は外 福は内」

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索

